

お知らせ

「コロナ傷病手当金」の適用期間が再延長し、3月末までとなっています。また、「保険料減免」についても受付が行われています。

朝志和

発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部
〒351-0007 朝霞市岡3-24-37
TEL048-462-1303 FAX048-463-7059
《発行人》朝志和支部教育宣伝部
第213号 定価30円
(機関紙代は組合費に含まれています)
MAIL asashiwa@saitama-doken.or.jp

朝霞4市ビックアクション

国民の団結で軍事強化ストップ

23団体 131人が参加

莫大な軍事費増加

本当にこれで良いのか

2月22日(木) 19時から「朝霞4市地域ビックアクション総行動市民集会」が、北足立南部地区労務所をメイン会場に、土建新座支部、土建朝志和支部、新座市職員組合事務所、和光中央公民館、新座市委員会と個人PCをWEBで繋ぎ、23団体、131人が参加し開催しました。

南利之志木地域事務局長の司会進行では、まず「莫大な軍事費増加、本当にこれで良いのか」という問いかけから、主催者を代表して松本実行委員長より「賃上げの財源の一つとして、大企業が持つている500兆円にも及ぶ内部留保を企業に還元させることを、多くの国民と連帯して求めていきたいと思います。税金は上がり、賃金が上がらず、年金は引き下げられる。賃金の問題、雇用の問題。とりわけ平和の問題は『敵基地攻撃能力』を掲げて軍事費を5



23団体、131人をWEBで繋ぎ＝朝志和支部事務所（サテライト会場）

年間で43兆円増と言われています。本当にこれで良いのかということに参画している皆さんと一緒に考えるため、本日の講演を聞いて頂きたいと思えます。みなさんと一緒に草の根の運動で政治を変えていきたいと思います。」とあいさつがありました。

続いて新座高校非常勤講師で地区労働相談員の川添先生から「敵基地攻撃能力論と日本国憲法」と題した講演がありました。①安保三文章とは②有識者会議とは、そのメンバーの特徴③「敵基地攻撃論」背景④敵基地攻撃能力の具体例⑤敵基地攻撃は本当に可能か⑥敵基地攻撃能力と憲法、国際法の関係⑦「新しい戦前」にさせないために」と解りやすい講演

現在36人の拡大到達

この勢いで頑張り切り

2月24日(金) 19時30分から支部事務所にて拡大書記長会議&春の拡大月間出陣式を行い32人が参加しました。通常の書記長会議の報告と春の拡大月間の提案となりました。

春の拡大月間については名雪組織部長から提案がされ、統一行動日、支部・分会目標、スクラッチカードの取組み、脱退

防止の取組み、各種援助金と表彰、分会出陣式、

支部打上式の提案がされました。「現在36人の到達。この勢いで頑張りましょう」と力強い決意表明となりました。



拡大書記長会議&支部出陣式の様子



講演を行う川添先生

をして頂きました。各地域からの活動報告では、朝霞地域を代表して年金者組合大塚支部長から「国民の団結で軍事強化ストップ！物価の上昇に見合う年金を！」、志木地域を代表して中島志木9条の会事務局長から「志木市の小中一貫教育の導入について」、和光地域を代表して金井理研労組委員長から「2023年3月末の約4000人の雇止め阻止」、新座地域を代表して小島生健

会役員から「朝霞4市ビックアクションへ新座地域から報告」が行われました。

続いて上蓮地区労務所局長より「5月のメーデーに向けて春闘闘争に奮闘し、6月4日のオール埼玉1万人集会は久しぶりに北浦和公園へ結集し、成功させましょう」と行動提起がありました。最後に小野副実行委員長より閉会のあいさつがあり終了しました。

【根岸 岩瀬信雄】

前進

和光市にある理化学研究所は日本で唯一の自然科学総合研究所として物理学、工学、化学、数理・情報科学、計算理学、生物学、医学など広い分野で研究が行われています。しかし、その理化学研究所では、研究者の8割弱が有期雇用職員で、単年度契約を繰り返して、10年・20年と長年その業務を支えています。2013年4月に施行された労働契約法第18条では、有期契約を繰り返して5年を超えた場合(研究系職員は10年を超えた場合)には、雇用の安定のために労働者の申し出により無期雇用への転換権獲得が制度化されました。しかし、理研はその法律の趣旨とは逆に、転換権獲得阻止を目的に、雇用上限を事務系では5年、研究系10年に就業規則を不利益変更しました。この結果2023年3月末には研究現場から約4000人の職員が雇止めされようとしています。▼理研の研究職の数は雇止め撤回を求めてきた地域裁判所に提訴していますが、係争中です。今月雇止めが行われれば、研究者の生活は？家族は？理研労組は電子署名も行っていきます。理研労組に支援を。

他支部の経験も活用し 今後の企画や活動に

次世代活動者会議



30支部70人が参加した次世代活動者会議＝埼玉土建本部会館にて

2月5日(日)10時から、埼玉土建本部会館にて、全県拡大次世代対策活動者会議が開催され、30支部70人(支部1人)が参加しました。

初めに戸田本部長が挨拶し、部長より「今までの会議は、学習や経験交流を中心に開催してきました。今日は参加対象も拡大し、15年経過した次世代対策部としての課題や意見を出して欲しい」とあいさつがありました。

基調報告のあと各支部からの典型報告(八潮支部からは、次世代層が参加し

「仲間がいないので難しい」「高齢者の多い分会には、次世代層が参加しづらい」などの意見が出されました。選出できた支部からは「対話を心がけた」「次世代訪問をした」「ピンゴに次世代部長選出をもうけた」「次世代層なら会議に参加しても良いことにした」「行事を開催した」「分会会議で高齢役員に勇退してもらい、次世代層で新たに役員を選出した」「組合活動の効率化」などの報告がされました。

分散会後は、支部部長・支部担当2役・次世代層の支部常任・支部担当書記・担当中執とそれぞれ

若い世代を盛り上げ 建設業界自体の発展に

青年部会
青決

2月25日(土)、19時30分から青年部の「秋の新人部員歓迎会兼春の拡大決起集会」が「順風源」で行われ、成田副部長と花の木分会の中野部員、西次世代部長と根岸分会の富安次世代部長、丸山支部長と名雪組織部長、書記2人の合計8人が参加しました。

自己紹介のあと、名雪組織部長から「秋と春、年2回行われる拡大月間は、組合の組織強化だけではなく、建設業界としての要求実現の声を大きくするための取り組みでもあります。若い建設従事者を集め、埼玉土建を盛り上げることは、建設

それぞれの立場の代表が感想を述べ「集まる場に参加して所属支部以外のことを聞くことは大事。仲間運動を伝えるには、伝える側の気持ちで相手も変わる。今こそ15年前に開催した全支部を盛り上げるボウリング大会のような企画も考えていきたい。」とまとめのあいさつがありました。

今回参加し、次世代対策部として他支部の経験も取り入れながら、今後の支部全体の取組みにも活かしていきたいと思いました。



8人が参加した秋の新人部員歓迎会兼春の拡大月間決起集会

「若い世代が盛り上がる」と、組合としても盛り上がり力になる。日々の仕事をしながら組合活動に参加することは大変かもしれないが、日常生活や現場の仕事に役立つことも沢山見つかる。共に仕事も組合の活動も頑張っていこう」と締めめのあいさつがあり、解散となりました。

「若い世代が盛り上がる」と、組合としても盛り上がり力になる。日々の仕事をしながら組合活動に参加することは大変かもしれないが、日常生活や現場の仕事に役立つことも沢山見つかる。共に仕事も組合の活動も頑張っていこう」と締めめのあいさつがあり、解散となりました。

正解者には抽選で5名に図書カードを進呈
宛先：支部教宣部あて締切：二五日消印

・ヨコのカギ・
・タテのカギ・

①ローマにある世界最小面積の国。：市国
②凍結しない程度の温度での保存。：室
③法律の：に国民は反対
④商店街の抽選は：なし
⑤失敗だと思ったら、結果はよかったよ。：の功名
⑥雷鳴の前にピカッ！
⑧：場、：目、：屋
⑩世界三大瀑布とは、ナイアガラ、イグアス、：の滝
⑬赤ちゃんの第一声
⑮末広がりの意味する、縁起のよい漢字
⑯細部にこだわらず。木を見て：を見ず
⑰昔の中国王朝の一つ
⑱：は異なるもの味なもの菩薩です
⑳それはよい考えです

応募は官製はがきで申し込んでください。
当選者は、発送を持って代えさせていただきます。

